

## 令和2年11月定例教育委員会会議

- 開催日時 令和2年11月20日(金)  
午後1時00分～午後2時50分
- 開催場所 鹿嶋市役所 3階 会議室304
- 出席委員 教育長 川村 等  
教育長職務代理者 岡見 文彦  
委員 信樂 哲  
委員 原 キミ  
委員 大槻 啓子  
委員 大崎 千帆
- 事務局出席者 教育委員会事務局部長 佐藤由起子  
教育委員会事務局次長 大須賀規幸  
教育委員会事務局次長 宮崎 正明  
教育指導担当参事兼課長 石津 光彦  
総務就学課長 君和田浩幸  
幼児教育課長 堤 芳隆  
教育施設課長 野田 秀志  
社会教育課長 東峰由美子  
中央図書館長 飯塚 貴子  
中央公民館長 増田由紀子  
総務就学課長補佐 平山麻由美  
総務就学課主事 横田 友人

## ○ 議 事

### 1 議 案

- 公 開 議案第48号 令和2年度鹿嶋市奨学生の決定について(総務就学課)
- 公 開 議案第49号 平成31年(令和元年)度鹿嶋市教育行政評価の報告に  
ついて(総務就学課)
- 公 開 報告第19号 叙位・叙勲の内申の専決について(総務就学課)
- 非公開 報告代20号 職員の人事の専決について(総務就学課)

### 2 協議・報告事項

- ・令和2年度成鹿嶋市市議会定例会提出議案について
  - ① 令和2年度鹿嶋市一般会計補正予算のうち教育委員会関係予算
  - ② 「鹿嶋市職員の給与に関する条例」等及び「鹿嶋市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例」の一部を改正する条例
  - ③ 鹿嶋市教育委員会委員の任命について
  - ④ 財産の取得について
  - ⑤ 鹿嶋市勤労文化会館及び鹿嶋市どきどきセンターの指定管理者の指定につ

いて

- ⑥ 鹿嶋市立カシマスポーツセンター外 3 施設の指定管理者の指定について
- ⑦ 鹿嶋市立北海浜多目的球技場外 3 施設の指定管理者の指定について

### 3 その他

- ・教育委員会関係日程

## ○ 会議録

### 1 開 会

教育長から開会が宣言された。

### 2 議事録署名人の指名

岡見委員が指名された。

### 3 議 案

議案第 4 8 号  
(総務就学課)

令和 2 年度鹿嶋市奨学生の決定について  
コロナ禍を鑑み、令和 2 年度鹿嶋市奨学生の追加募集を  
し、新たに奨学生として 1 名決定するもの。

【主な質疑・意見等】  
特になし

※議案第 4 8 号については、原案どおり可決された

議案第 4 9 号  
(総務就学課)

平成 3 1 年（令和元年）度鹿嶋市教育行政評価の報告に  
ついて  
平成 3 1 年（令和元年）度実施事業における管理及び執  
行の状況について点検及び評価を行い、その結果を令和  
2 年第 4 回鹿嶋市議会定例会に報告するため、教育委員  
の議決を得るもの。

【主な質疑・意見等】  
委員

（3）「主体的対話的で深い学びに向けた授業改善」の  
評価が 7 6. 6 点の B と低い気がする。

アクティブラーニングに関しては、授業改善プロジェ  
クトや授業参観の見学をして、県や国の学力検査の結果  
を見ても、鹿嶋市として、先進的に取り組んできた成果  
が表れ、良い結果が出ているので、（3）については、A  
評価で良かったのではないか。

この項目では、I C T 関係に多く触れられた評価にな  
っているが、（5）「I C T 教育環境の充実」の詳細を見  
ると 8 3. 8 点の A 評価になっている。

何故（3）の中に I C T 関係の評価が含まれていて、

B評価なのか。

総務就学課

(5)「ICT教育環境の充実」の環境整備についての評価であり、(3)については、ICT機器の導入によって、授業の更なる改善を図り、伸ばしてほしいということ踏まえ、76.6点の評価となっている。

今後研修を通じて端末の推進を行い、苦手としている先生方にも覚えてもらう方向で進めていく。今後はこの事業が伸びていくものだと思う。

委員

そうすると(5)はハード面での評価で、(3)はソフト面での評価ということか。アクティブラーニングに関するコメントがないので、違和感がある。

教育指導課

アクティブラーニング自体は、各学校でかなり浸透しており、先生方も授業スタイルを確立しているところではある。しかし、ICTを活用した中でのアクティブラーニングは、先ほどの説明にあったように、ICT機器を活用してのアクティブラーニングの授業スタイルの活用が不足している。そのことを踏まえてこの結果になっている。

委員

(9)小中一貫教育に触れられているが、昨年度の数値が非常に低かった。

鹿嶋市の17ある小中学校の中で高松地区から一貫校が始まっているが、現場の先生方は小中一貫などこれまでやったことがない中で、どのように効果を上げていくか、日々一生懸命研鑽をなさっているのではないかと思う。

毎月、高松小中学校の学校新聞(校内新聞)が回覧で届くので、取り組みをみると、よく頑張っている印象がある。励ましにもなるように、評価として65点は低いのではないかと思う。どのような意見があってこの評価になっているか知りたい。

総務就学課

評価のコメントのとおり、小中一貫校についてはまだ地域の人に知れ渡っていないようなので、一貫校の成果をPRし、特色ある学校を目指していただきたいと教育行政評価の委員さんからお話をいただいた。

先生方は一生懸命、小中の乗り入れ授業等をしながら頑張っているが、今年に限っては、新型コロナウイルス感染症の影響で、小中合同授業や乗り入れ授業等のやりたい授業がなかなかできない声も上がっている。

保護者からの意見も小中学校がそれぞれあって、なか

なか一貫校というものが見えてこないという内容の声もあると聞いている。そのことを踏まえ、今後伸ばしていくという意味でこの点数が出たと感じる。それを踏まえて事業を進めていきたいと思う。

- 教育長 Bの評価は悪い評価ではない説明をお願いしたい。
- 総務就学課 B評価というのは決して悪い評価ではなく、その事業に課題があり、これからこの事業を伸ばしていけるという意味でこの点数になっていると感じている。
- 委員 (9)の評価Bは、50～80点と幅広いのはわかるが、他と比べて低いと感じた。メリットとして英語力の向上や乗り入れ授業などで質の向上が図られたとあるが、現段階でのデメリットとは何か。デメリットがあるから、評価が低いのだろうか。
- 総務就学課 課題として施設一体化の話を進めているが、統合には至っていない。新型コロナウイルスの影響もあるが、やりたいことがなかなか進まなかった点もある。
- 委員 先生方も、小中学校で独立したところはスムーズに行えるものが、規模が大きくなると動きづらくなることか。
- 総務就学課 高松小学校と高松中学校の距離は近いものであるが、10分間の休憩時間の中で学校間を行き来するのに制約がある。移動する時間も限られているため、なかなかそこに行って進まない部分があるということを知っている。
- 教育長 物理的に小学校と中学校の距離があることで、乗り入れに関して問題がある。授業時間や休み時間も小中学校で違うという課題としてある。その部分もあって、65点という評価である。
- 委員 一貫校の成果などが地域の人に知れ渡っていないということで、高松小・中学校は市内全域から受け入れをしていると思うが、2年目になってそういう周知がされて、他学区から入ってきた子どもがいるのか。  
小中一貫校のメリットを、令和3年度に向けてPRしていくと思うが、どのような方向で周知をしていくのか。
- 総務就学課 高松小・中学校については申請をすれば他学区からでも通える形にはなっている。現在「教育かしま」で小中一貫校の周知をしているが、学区内だけでなく、学区外

の方にもする必要がある。あらゆる方法でPRを進めていきたい。

委員 小中一貫教育拡大の方向性の検討ということで、先を見据えると小中一貫校をどのような増やしていくのかということがメインだと思うので、検討をお願いしたい。

教育長 学区外からの入学者は毎年いるが、周知がまだ十分でないので、色々な機会にやらせていただきたいと思う。

次長 小中一貫教育について、65点ということでいくつかご意見をいただいたが、この項目の目標というのは高松小学校の状況というよりは、小中一貫型・隣接型として平成30年度からスタートして、次の小中一貫教育に広げるために、何ができたかを評価しているものであり、PR不足や授業時数の関係、学校の距離となかなか進んでいない現状がある。色々な検証をした結果、シビアではあるが65点になった。次の小中一貫教育に繋げるステップに、今一つになってないのではという評価になっている。

委員 地元に住んでいて、小学校の場合は他学区からきても、中学校にわたるときにそのまま高松中学校へ進学するとは考えにくい。というのは部活が少なく、活動している運動部はバレー、バスケ、テニス、サッカーの4つしかない。それ以外の種目をやりたいという子どもは、高松中学校へ進学するであろうか。

昔私どものやっていた時代は、部活が強くて、とにかく一生懸命頑張ろうということで、運動部に入った子どももいっぱいいた。その時代とは違うが、何かそういう意味での子どもたちにインパクトを与える何かがあれば違うのではないかと思う。

いずれにしても現場の先生方は一生懸命頑張っているんで、3年もやっていけばそれなりの答えを出してかなくてはいけないと必死に取り組んでいる。そのことだけご理解していただきたい。

教育長 大規模改修が令和4年度に予定しているので、物理的な距離は解消される予定である。

教育施設課 今の高松小学校と中学校は一貫校とされながら施設は分離されている状態である。小学校にしても中学校にしても施設が老朽化しているので、大規模改造が必要になるため、この機会に一つの小中施設の一貫校として事業を進めていく。

予定として、令和3年度に設計、4年度に工事を考えている。それに向けて教室の配置をどうするか、小中学校の行き来をした場合の動線はどうかなど、学校の先生と現場のお話を伺いながら、打合せをして進めている。

委員

(4)「系統的な英語教育体系の構築と推進」が高い評価をいただいてAの90.0点である。鹿嶋市教育委員会が前々から先進的な英語教育に関する様々な取り組みをしてきた成果として、英検3級取得の数も大変素晴らしかった。県や国の学力検査とかでも英語の点数が高得点で、それが結びついたので嬉しく思っているが、鹿嶋市としては、今まで取り組んできたとおりにこれからの英語教育の推進ということで鹿嶋市教育委員会の大きな柱としてさらに進めていただきたいという願いである。

今年、新型コロナウイルス感染症の影響で鹿嶋市の特色である海外派遣が中止になった。西帰浦やオーストラリアの予算が想定されていたと思うが、中止になった分の予算を、鹿嶋の子どもたちの英語強化のために、新たに投入するような企画は考えているか。例えば、子どもたちの英検でさらに3級取得や2級を目指させるための方策やセミナーの企画あるいは、県や国レベルを目指してスピーチコンテストや体験づくりなど、現段階で考えているものはあるか。予算そのものが中止ということでは使えなくなっているのか。

教育指導課

今後の鹿嶋市のさらに英語力の向上を図るという点では、現在3級程度の生徒の数が60人近くいる。GIGAスクール構想での端末に「English4skills (イングリッシュフォースキルズ)」という英検に特化したソフトを入れる予定である。このソフトは、いつでもどこでもやりたいときに子どもたちが家に持ち帰ってもできるように、一人ひとりのレベルに合わせて勉強を行うことができるようになる。極端な話になるが、例えば準2級まで目指せる子はこのソフトによって目指せるようになっていく。すでに小学校で英検3級を持っている子もこれから中学校に入ってくるので、そういった子は当然のように2級を受けてもらう。さらに準1級にも向かっていくようにと、今現在は2級が最高の形で各学校にいる。今後は準1級を目指せるような形で個別の学習にタブレットを活用した学習を推進していきたいと考えている。

委員

鹿嶋の大きな特徴ということでその柱を育ててほしい。その予算は最初から海外派遣とは別の予算であるの

か。

教育指導課

その通り。

次長

海外派遣に関する事業の予算は、今回新型コロナウイルス感染症が世界中に流行しており、事業中止となったため、今年度の予算執行はない。

委員

2級を持っている子も、準1級のレベルの子もいることで、英語だけでなくICT教育でも同様だが、プログラミング教育にこれからどうしても必須な教育の分野になるが、英語にしてもプログラミングにしても素質がある子をどんどん拾い上げて、称揚する機会を与えるべきだと思う。そういう子を育てることが地域社会だけでなく、広く国のために、世界のためにもあるわけで、みんなを同じレベルで育てるのでなく、能力の高い子、有望な子を育てる機会を作っていただきたい。

教育長

**English4skills** はレベルに応じて、できる人はどんどん進められ、基礎的に学びたい人は、そこが学べるので期待しているところ。

中学校が全部導入することで進めているが、小学校についても、導入できるか検討しているところである。

委員

それも必要だが、そういう子たちを褒めてあげる、認めてあげるように育ててあげることが大切だと思う。子どもたちの頑張りを認めてあげられるようなことを教育委員会で指導的にした方がいいのではないかと思う。検討をお願いしたい。

委員

「放課後子ども総合プランの推進」の内容で、保護者から現在も放課後子ども教室の開設されていない学校があると伺う。人数や空き教室の問題で難しいと伺っているが、現状でも難しいのか。

社会教育課

放課後子ども教室の開設されていない学校は、三笠小学校と大同東小学校の2校である。大同東小学校については、児童クラブが別棟でやっていて、児童クラブ入所希望が増えている状況に伴い、空き教室がない。三笠小学校についても、教室自体が目一杯のところがあり、改めて受け入れるところが困難なところがある。

児童数の推移を見ながら、検討できる段階になれば、放課後子ども教室の開設を検討したいと考えている。

委員

保護者から隣の学校は放課後子ども教室があるのに、

うちの学校にはないのは何故なのかとよく耳にするので、なんとか開設できないか。

社会教育課

現状では、先ほどの2校の開設は難しい。今後色々な状況が出てくるので、みなさんが安心できるよう取り組んでいきたい。

教育長

物理的に、教室がないということがネックなのか。

社会教育課

その通り。三笠小学校は敷地内にやっているが、そこについては空き教室がない状態で、三笠小学校では、子ども教室を開設するとなると、1つの教室では足りないぐらいの人数になると考えられる。大同東小学校では、学校から少し離れた場所で児童クラブを実施しており、児童クラブと同じ指定管理業者にお願いするとなると、現児童クラブ開設場所での子ども教室の開設は難しい。

委員

大同東小学校の中に空き教室はないのか。

社会教育課

学校の中に空き教室があっても、国から児童クラブと子ども教室の方を合わせてなるべく連携を取りながらと言われていることもあり、同じ事業者で開設をお願いすることになる。お互いの教室が離れて活動をするよりは近くにある方がいいとのことで、できれば同じ場所で開設できるようにしている。

部長

今般、児童クラブの利用が増えているので、どうしても児童クラブの開設を図るという状況である。兄弟と一緒に入りたいと要望があるので、そちらについては今後学校と相談していく形になっていく。

委員

(13)「不登校・長欠解消支援の充実」について、非常に評価も高くなっているし、教育センター等で様々な環境の部分で対応され、評価されている。「答申を受けて」のところで記載されているが、今年度コロナウイルス関連で、学校が長期に閉まっていたこともある状況の中で、長期欠席となるケースが予想されると書いてあるが、11月に入り、現段階で子どもたちの様子は新型コロナウイルスの影響が出ているのか、現状を教えて欲しい。

教育指導課

年度当初は新型コロナウイルスの感染が心配だということを経由に、学校を欠席している児童生徒はいたが、2学期に入っては各学校にほとんどいない。コロナの影響で不登校が増加しているという報告はない。

各学校の先生方は家庭訪問等を行っていて、3日は休



#### 4 協議・報告事項

##### ・令和2年度第4回鹿嶋市議会定例会提出議案について

##### ① 令和2年度鹿嶋市一般会計補正予算のうち教育委員会関係予算

##### 【主な質疑・意見等】

委員

中学校大規模改造事業の鹿野中学校特別教室のエアコン整備について、利用頻度の高いところから順次やっていく話だと思ったが、先ほどのご説明だと例えば、大野中学校は7室で鹿野中学校は11室ということで数が多いので、特に使用頻度の高いところが優先ではなく、鹿野・大野中学校に関しては、すべての特別教室にエアコンを整備するのか。

教育施設課

平成29年度から31年度に市内小中学校の普通教室と図書館にエアコンを設置しており、整備されていない小学校と中学校の特別教室の中で、小学校と中学校で比較したときに利用頻度が高いということで、中学校の方が利用頻度は高いため、中学校から優先的に整備していき、その中で鹿野中学校と大野中学校のさらに利用頻度の高い特別教室分を補正要求した。特別教室の中でも利用頻度が低い教室は、例えば、教育相談室など、日常的に授業で使用しない教室は予算要求をしていない。

委員

小学校の特別教室の整備についてはいつ頃になるか。

教育施設課

中学校の整備が終わった後に行う。

委員

特別教室は、音楽室や理科室とあるが、エアコンを整備した特別教室はどこか知りたい。

教育施設課

エアコンを整備した具体的な教室は、鹿野中学校は、木工室、美術室、教育相談室、音楽室、被服室、調理室、理科室、演奏室、英語教室になり、その中で理科室と相談室が2室ずつあるので計11室。

大野中学校が、技術室、美術室、家庭科室、音楽室2室、理科室2室の計7室である。

委員

文化財保護経費の鹿島神宮の修理を令和2年から始めると聞いたが、神宮の建物というのは、国の重要文化財になっているとのことで、この年数をかけて、どのような修繕をしていくのか。金額についても国の重要文化財だと国や県から補助が出てくると思うが、対象になっているのか。

社会教育課

神宮の修繕の計画であるが、総額として3億7310

万円が令和2年から8年までの工事費である。国の補助が2分の1，県は補助がなし，市の方で60万円出る。

今年度の事業費1200万円が今年度の事業計画の工事予定額となる。修繕の内容が，幣殿，拝殿、奥宮，楼門の屋根の基幹や漆の塗り替え，その他劣化している部分の修繕を行う。

委員

中学校教育振興支援事業の中学校のスキー学習が中止になったことでキャンセル料が馬鹿にならないのだが，いつ頃キャンセルしたのか。来年に延期という話があったが，もし延期した場合，同じ施設を使うのか，来年実施した場合は，1年生と2年生でスキー学習を行うのかお伺いしたい。

総務就学課

スキー学習のキャンセルをしたのが9月である。

この金額については，旅行会社との契約で約款に基づいて計算さされ，その中で企画料も含め5%程度支払うことになる。延期については，来年1年生と2年生でスキー学習を行う。

委員

来年行う場合は同じ施設を利用するのか。その辺の契約はどうなのか。キャンセル料がどうしても高く思えてしまう。

教育指導課

キャンセル料は，業者によってキャンセル料を取らない業者もある。今後は業者を選定する時は，キャンセル料の有無を含めて決めていく方向である。

委員

ニュースであったが，修学旅行が中止になって行けなかった子どもたちに対して，学校がアイデアを出して修学旅行に代わるものとして，地域の様々な体験学習に参加するとか，あるいは手作りで先生たちがお化け屋敷や花火をして，思い出づくりをされているが，鹿嶋市としては，修学旅行をキャンセルしたことに対しては，何らかの代替策はしているのか。

教育指導課

日帰りの遠足というような形で行っている。大体の学校はひたち海浜公園や笠間市の焼き物の体験学習を行っている。

② 「鹿嶋市職員の給与に関する条例」等及び「鹿嶋市特別職の職員給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例」の一部を改正する条例

【主な質疑・意見等】

特になし

③ 鹿嶋市教育委員会委員の任命について

【主な質疑・意見等】

特になし

④ 財産の取得について

【主な質疑・意見等】

- |       |   |
|-------|---|
| 委員    | 小中学校向けの学習のドリル「ナビマ」は何の教科のドリルか。                                       |
| 総務就学課 | 5教科である。   |
| 委員    | 英語ソフトは中学生だけか。   |
| 教育指導課 | 小学6年生も入っている。  |
| 委員    | 生徒1人につき1台端末だが、すべてにいれるのか。  |
| 総務就学課 | クラウド上にデータがあるので、そこにアクセスすることになる。                                      |
| 委員    | 財源的には国のGIGAスクールの予算で行うのか。  |
| 総務就学課 | 財源的には、夏ごろに説明をしたが、9月議会の補正予算で議決している。一般財源ではなく、地方創生臨時交付金を100%活用して導入をする。 |
| 委員    | 大型電子黒板は12校の合計167台で、教室に1台を導入することでいいのか。                               |
| 総務就学課 | 今の全教室数分導入する。11月上旬に発注し、年度内に納入される予定である。                               |
| 委員    | 学校の学級数の増減等があった場合は、またその都度配慮していただきたい。                                 |
| 委員    | この機材の保証はいつぐらいまでか。   |
| 総務就学課 | ソフトウェアは5年間の活用ができる。電子黒板については、確認する。                                   |
| 委員    | 電子黒板の入札の金額にかなりの差が生じているが、品質は大丈夫なのか。                                  |
| 総務就学課 | 電子黒板については、型番の指定はこちらでしているため、入札の際も指定した型番で行っている。推察にな                   |

るが、入札に差が生じたのは、設置までの時間的なタイトなスケジュールの中で人件費等の部分で差が出ているものだと思う。物品の品質に関しては問題ない。

委員 入札は詳しくは分からないため、偶然とは思いますが、教材と電子黒板は同じ会社で落札をされているが、他の会社より金額が安いので、心配な面がある。

総務就学課 入札は価格競争で行うので、一番安いところを取る形となる。

委員 ソフトウェアの方については、落札した会社の方で先生方に対してのある程度の研修やサポートの部分もあるのか。

総務就学課 ソフトウェアに限らず、端末を導入するにあたり、導入前に先生方に対し研修の実施、あるいはその後、人事異動によって新しく鹿嶋市に來られた先生方への研修、それでもまだ研修を受けたい先生方がいれば研修をしていきたいと準備を進めている。

- ⑤ 鹿嶋勤労文化会館及び鹿嶋市どきどきセンターの指定管理者の指定について
- ⑥ 鹿嶋市立カシマスポーツセンター外3施設の指定管理者の指定について
- ⑦ 鹿嶋市立北海浜多目的球技場外3施設の指定管理者の指定について

【質疑・意見等】

委員 都市公園のバンドリング事業とは何か

次長 鹿嶋市に点在しているスポーツ施設及び公園施設を一括して指定管理するものである。規模を大きくすることによって、全体的な経費を削減できると見込んでいる。来年度1年間かけて、やり方や対象施設等を検討し、調査結果に基づき、令和4年度以降に実施する方向で考えている。

- 5 その他
  - ・日程について

- 6 閉会  
教育長から閉会が宣言された。